

学年	高校3年	教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	6
教科書名	詳説 日本史 B (山川出版)			副教材名	新詳日本史 (浜島書店) 新詳新日本史史料集成 (第一学習社) 日本史総合テスト改訂版 日本史用語集改訂版		
コース・クラス	スポーツ、芸能						

I. 目標

1. 列島内の人々の歩みを学ぶだけでなく、我が国と諸外国や諸地域との関係を基本的な枠組みの中で理解する。数多くの事象を題材に用いて歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 基礎知識の定着と、変わる入試にあわせ、身につけた知識を活用し多角的な視点で物事を考えられる力を養う。
3. 基礎学力到達度テスト6割、大学入試共通テスト、一般受験に対応できる実力を身につける。

II. 授業のねらい

1. 通史に対する把握・理解を促し、生徒各自が自分なりの歴史を見る目を養うとともに、諸種の問題演習を実施する基礎学力到達度テストに対応できる基礎力・応用力を身につける。
2. 講義型の授業に加え、アクティブラーニング型授業も適宜取り入れることで多角的な理解を図る。また、より深い理解を得るために ICT 教材も積極的に使用して、基礎的項目の確認だけでなくさらなる興味関心を喚起する。

III. 授業の進め方

1. 講義 (5 単位分を目安)
 - ①シラバスに沿った授業展開を基本とする (9 月末の基礎学力到達度テストまでは、試験範囲の学習に重点を置く)。
 - ②小单元ごとに小テストを実施する。
2. 演習 (1 単位分を目安)
 - ①講義と同様に、9 月末までは 2 年次までに学習した基礎学力到達度テストの試験範囲の問題演習に取り組む。
 - ②問題集より抜粋したものや基礎学力到達度テストの過去問題を使用する。
 - ③小单元ごとに小テストを実施する。

IV. 学習上の留意点

1. 大まかな基礎知識で通史の軸をつくってから、細かい知識を追求していくように意識すること。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な出来事の因果関係を意識しながら、自分の言葉や図表に置き換えて理解すること。
3. 板書の書き写しだけではなく、授業内の解説から要点を聞き分けてメモを取り理解を深める努力をすること。
4. 時代ごとの特徴を整理しながら学習に取り組むこと (一度に広範囲の時代の学習に臨むのではなく、適宜小さな区切りを設けて取り組むこと)。

V. 定期試験

- 1 学期中間試験 : 織豊政権 ~ 幕政の安定
- 1 学期期末試験 : 経済の発展 ~ 化政文化
- 2 学期中間試験 : 開国と幕末の動乱 ~ 第二次世界大戦
- 2 学期期末試験 : 占領と改革 ~ 冷戦の終結と日本社会の変容

VI. 評価の方法

各学期の定期試験、小テスト、提出物、課題などの総合評価。

VII. 授業計画

学期	月	単元	試験等	学習目標
一 学 期	4	第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造	小テスト	織田信長が強大な軍事力や経済力を背景に完成させようとした統一事業を考察する。／豊臣秀吉の全国統一の過程をとらえ、政権の特色や経済的基盤を理解する。／3代将軍のころまでに、将軍と大名が土地と人民を統治する支配体制が成立していったことを理解する。
	5	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	中間試験	武断政治、文治政治それぞれの社会背景を理解し、近世社会が変容する端緒をつかむ。／経済の発展を確認しながら、都市部の多様な発達を理解する／大坂の繁栄を背景とした町人文化と、政治と実学を基盤とした儒学文化を考察し元禄文化の二大支柱を理解する。
	6	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	小テスト	列強の進出への対処や三大改革の時代背景に留意しつつ、幕府衰退の過程を理解する。／宝暦・天明期の文化では、民衆生活に焦点があてられたことの意義を、各種資料から考察する。／幕藩体制が動揺する中で、体制への批判的視点が醸成され、近代を準備した点を理解する。／文化の担い手が庶民へと広がった化政文化の特徴を理解する。
	7	*第9章以降は日本史Aの履修内容の復習を行う 第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱	期末試験	新政府による近代化の各種政策について考察する。／条約改正交渉を概観し日本の国際的地位を理解する。
一 学 期	9	2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	基礎学力到達度テスト	日清戦争・日露戦争に至る原因と結果を理解し、日本の国際的地位の変化および植民地支配の推進を考察する。／立憲政体樹立の過程を理解し、桂園時代にいたる国内の動向を考察する。／我が国の産業革命について考察する。
	10	第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	中間試験	第一次世界大戦に至る国際関係、大戦の過程とその結果について考察する。／民主主義的風潮による社会運動の動向を理解すると共に、政党内閣制成立の意義を考察する。 昭和初期の経済恐慌がその後の軍部の政治的進出の要因となることを理解する。／政党内閣の崩壊や国際的孤立にいたる過程について考察する。／日中戦争から太平洋戦争へいたる過程を概観し、同時に全体主義的な国家体制が進展した要因とその結果を考察する。
	11	第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	小テスト	占領政策及び戦後の民主化政策と諸改革について考察し、日本国憲法制定の意義を理解する。また、冷戦の開始をふまえ、占領の終結と日本の主権回復の過程及び、今日まで続く日米安保条約の締結とその意義を考察する。
	12	第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の動揺	期末試験	55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。／経済復興とその後の高度経済成長について、国際社会における日本の立ち位置、経済の国際化と国内の技術革新、社会問題の発生などに着目して考察する。／冷戦の終結と国内の状況について、政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的に考察する。

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更することがある。